

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	2 年	2	選択
担当教員			
豊田 正明			
C (商学部)	S (専門科目)	LW (法律)	201 (中級科目)

授業のねらい（概要）	民法は、私人相互間の法的関係を規律しており、経済的・財産的关系を規律する財産法といわれる分野と身分的・家族的生活関係を規律する家族法といわれる分野に分けることができる。買ひ物やアパートを借りたりする場合等には財産法が、婚姻・離婚、相続といったような場合には、家族法が関わってくることになる。ゆえに、人が市民生活を営んでいく上で一番身近な法律は民法といってよいだろう。 本講義では、民法の基礎知識の習得、事例や判例を通して問題解決に必要とされる法的思考の習得を目的とし、さらには公務員試験において必要とされる問題解決力の涵養を目的とする。 講義中質問を投げかけることがあると思うが、その際には自分だったらどうするかを考え、シミュレーションして欲しい。		
授業計画	第1回	ガイダンス（民法の体系・民法の考え方・民法の歴史） 民法の基本原則、体系、考え方、歴史、基礎知識等を修得する。 予習（時間）：図書館等で民法の教科書にはどのようなものがあるかを確認しておく。（120） 復習（時間）：板書内容や話した内容を再確認する。わからない箇所は質問して解決する。（120）	
	第2回	権利能力・意思能力・行為能力 民法上のいわゆる三能力について、それぞれどういう概念か、どのような制度なのか、それぞれの制度が抱えている問題は何か等を扱い、意思の重要性を修得する。 予習（時間）：事前に配布したプリントを読み、わからない漢字や用語について調べる。（120） 復習（時間）：板書内容や話した内容を再確認する。わからない箇所は質問して解決する。（120）	
	第3回	意思表示とは 「意思表示とは」、「意思の欠缺」、「瑕疵ある意思表示（詐欺・強迫）」、これらと第三者との関係を扱い、民法における比較衡量を修得する。 予習（時間）：事前に配布したプリントを読み、わからない漢字や用語について調べる。（120） 復習（時間）：板書内容や話した内容を再確認する。わからない箇所は質問して解決する。（120）	
	第4回	代理とは 「代理とは何か」、「無権代理」、「表見代理」について取り扱い、代理理論を修得する。 予習（時間）：事前に配布したプリントを読み、わからない漢字や用語について調べる。（120） 復習（時間）：板書内容や話した内容を再確認する。わからない箇所は質問して解決する。（120）	
	第5回	時効とは 取得時効、消滅時効、除斥期間等、民事時効を扱い、時効とは何かの理解を目的とする。 予習（時間）：事前に配布したプリントを読み、わからない漢字や用語について調べる。（120） 復習（時間）：板書内容や話した内容を再確認する。わからない箇所は質問して解決する。（120）	
	第6回	物権総論 「物権とは何か」、「物権法定主義」、「物権の種類」を取り扱い、物権についての理解を目的とする。 予習（時間）：事前に配布したプリントを読み、わからない漢字や用語について調べる。（120） 復習（時間）：板書内容や話した内容を再確認する。わからない箇所は質問して解決する。（120）	
	第7回	所有権、占有権、用益物権 「所有権」、「占有権」、「用益物権」とは何かについて学び、物権的請求権並びに占有訴権についても理解する。 予習（時間）：事前に配布したプリントを読み、わからない漢字や用語について調べる。（120） 復習（時間）：板書内容や話した内容を再確認する。わからない箇所は質問して解決する。（120）	
	第8回	物権変動とは 「不動産及び動産の物権変動と対抗要件」について学び、とりわけ二重譲渡を理解して、一般常識と法律上の常識が異なることを理解する。 予習（時間）：事前に配布したプリントを読み、わからない漢字や用語について調べる。（120） 復習（時間）：板書内容や話した内容を再確認する。わからない箇所は質問して解決する。（120）	
	第9回	担保物権とは 「担保物権とは」、「留置権」、「先取特権」、「質権」、「抵当権」、「特別法上の担保物権制度」について学ぶ。 予習（時間）：事前に配布したプリントを読み、わからない漢字や用語について調べる。（120） 復習（時間）：板書内容や話した内容を再確認する。わからない箇所は質問して解決する。（120）	
	第10回	債権入門 「債権とは」、「債権の目的」、「債務不履行」について学ぶ。特に損害賠償請求権と範囲について理解する。 予習（時間）：事前に配布したプリントを読み、わからない漢字や用語について調べる。（120） 復習（時間）：板書内容や話した内容を再確認する。わからない箇所は質問して解決する。（120）	
	第11回	契約概論	

	「契約とは」、「典型契約」、「事務管理」、「不当利得」について学ぶ。契約の種類、成立、効力について理解する。 予習（時間）：事前に配布したプリントを読み、わからない漢字や用語について調べる。（120） 復習（時間）：板書内容や話した内容を再確認する。わからない箇所は質問して解決する。（120） 第12回 不法行為 「一般不法行為」、「特殊不法行為」、「特別法上の不法行為」、「損害賠償の実際」等、不法行為全体について学び、身近な法律問題について考える。 予習（時間）：事前に配布したプリントを読み、わからない漢字や用語について調べる。（120） 復習（時間）：板書内容や話した内容を再確認する。わからない箇所は質問して解決する。（120） 第13回 家族法総論、親族法 「家族法とは」、「親族」、「婚姻」、「離婚」、「親子」について学び、常識と法律上の常識とが異なることを理解する。 予習（時間）：事前に配布したプリントを読み、わからない漢字や用語について調べる。（120） 復習（時間）：板書内容や話した内容を再確認する。わからない箇所は質問して解決する。（120） 第14回 相続法 「相続法概説」「相続人」、「相続分」、「遺留分」、「特別受益」について学び、相続制度全体についての理解を深める。 予習（時間）：事前に配布したプリントを読み、わからない漢字や用語について調べる。（120） 復習（時間）：板書内容や話した内容を再確認する。わからない箇所は質問して解決する。（120） 第15回 まとめ これまで行った講義の中から、再度重要な部分について講義をする。 予習（時間）：事前に配布したプリントを読み、わからない漢字や用語について調べる。（120） 復習（時間）：定期試験の対策を丹念に行っておく。（120）
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	専門的分野の学びを実務や社会で応用できる能力を身につけることができます。 【身に付くスキル】 論理的思考力・課題解決力
到達目標	民法の基礎的な用語・制度を理解し、事例の検討や判例の見解について法的な考え方を展開することができ、自分の考え方を文章の形で説明できること、及び公務員試験等の問題を解くことができる能力を身につけることを目指す。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	小テストを2回程度行い、講義で解説する。
履修上の注意	法学系の科目を履修済みか平行履修が望ましいが、履修済みないし平行履修していなくてもよい。民法から法律学に興味を持ってもらいたいと考える。
成績評価の方法・基準	定期試験（70％）、小テスト（20％）、学修意欲（授業時の応答状況等）（10％）で評価する。定期試験及び小テストの形式は、それぞれテスト前に指示をする。
教科書	はじめての民法 ISBN番号：4-589-02878-6 著者名：中川淳・貝田守編 出版社：成文堂 発行年：2005年 価格：2625円 備考：一応指定をしておくが、履修者の進路希望や法学系科目の履修状況により変更することがあるため、指示があってから購入して欲しい。
参考書・教材	【教材】レジュメを配布する。
備考	講義科目／実務家教員による授業
教員との連絡方法	メール（講義の初めに周知する）